

Leader's TOPICS

with コロナでの環境体験学習

神奈川県地球温暖化防止活動推進員、大気・水環境部会 長村吉洋



■ 感染対策下での活動

新型コロナウイルスの世界的流行は、これまでの私たちの生活を大きく変えてしまいました。マスク着用は必須となり、三密の回避が叫ばれ、人と人との接触は極力避けざるを得ない状況となりました。このような中で、学校や職場など、あらゆる状況下で、感染対策を万全にして活動をする必要に迫られる中、常に感染リスクと向き合う状況となっています。

このような中で、私たちの生活様式や活動方法も、コロナ禍に適応していく必要があり、with コロナで試行錯誤しながら環境学習活動を展開する試みをしています。はまぎん こども宇宙科学館では、昨年秋以降、環境体験教室が再開され、他にも、さまざまな工夫をしながら、イベントや講座などを実施する挑戦が続けられています。

■ リアル講座

講座の会場では、三密の回避から、どうしても人数制限、事前申込受付、消毒、アクリル板やフェイスガードなど感染対策をしながらの実施となります。実施内容についても再考し、できるだけ個人で実験や工作をする工夫が必要になります。

子どもたちは熱中すると、密になったり、大声を出したりするので、できるだけ少人数にすることが必要だと思います。学校の出前授業では、どうしても人数や実施するスペースが限られているので、工夫をしてもなかなか難しい面もあり、悩ましいところです。とはいえ、実際のものに触れたり、実験や工作を講師の元で体験することは、何ものにも変え難い経験であり、多くの人たちが参加したい気持ちを持っていることを承知の上で、少しずつでも継続した取り組みを行っていくことは大切なことだと思います。

■ オンライン講座

会場での感染リスクが避けられない状況下では、インターネットを利用したオンラインによる講座も、大いに利用できる方法だと思います。実験や工作を体験するには、やはりリアルな会場で実施するのが最もよい方法ではあるのですが、感染リスクをなくすという意味ではオンライン講座のメリットは大きいと思います。そのかわり、講座内容や実験・体験できることを各自の自宅でできるように工夫する必要があります。

参加する側にとっても、講座を実施する側にとっても、オンラインのメリットとデメリットを認知した上で実施する必要があります。出かけずに自宅で実験や工作ができ、親子や兄弟姉妹も一緒に参加できるというメリットは大きいと思います。そのためには、自宅できる内容であること、ほとんどの材料や道具は各家庭で準備できるものであること、なるべく短い時間で、時間内にできる内容や工程にすることなど、どうしても制約がかかります。

■ アフターコロナに向けて

新型コロナウイルスだけでなく、今後もさまざまな感染症や災害、気候変動など、常に私たちは未知の問題に挑戦していかなくてはなりません。学校教育ではSDGsが必須の内容となり、地球環境や世界と、私たち一人一人とのつながりや影響というものが重要視される時代となりました。さらに、2050年に向けての脱炭素社会の到来を前にして、環境学習の方向性も、どうあるべきかを考えざるを得ない状況になっています。

不透明な時代を生き抜く力を、子ども達に、いかに身につけてもらうか、我々もともに試行しながら新しい時代に向かう力を養っていかねばと思います。



コロナ感染対策でのリアル環境体験教室



Zoomを活用したオンラインによる工作実験講座のモニター画像